

2021年度 (対象: 2020年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	研究組織 E群
--------	---------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評	
1110	各研究組織において、年度重点目標を有し、定期的に構成員間で進捗状況の共有を行っており、計画的に研究活動を推進していることが確認できた。また重点目標を達成できていない組織があるものの、改善の必要性を認識しており、今後、計画的に改善が図られるものと期待される。
1120	運営委員会を擁する研究組織においては、定期的に運営委員会を実施し、持続的な活動内容の点検を実施しており、会議開催や議事録の作成等、適正に行われていることが確認できた。運営委員会を有しない研究組織においても、構成員間で定期的実施するミーティング等で情報共有を行い、改善に努める状況が確認できた。今後、研究組織の活動内容を全学的な視点から点検できる体制づくりを検討することが望まれる。
長所・特色	
1110	研究内容ごとに専門部会を立ち上げそれぞれの活動を相互に点検する仕組みを有している組織がある。運営委員会等の組織を有しない研究組織においても、組織内で定期的に情報交換や進捗の確認ができる体制がある。
留意点	
	*各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
1110	一部組織においては、重点目標を達成するために今後の改善が望まれる。【B】
1120	活動内容を全学的な視点から点検を行うことができる体制づくりを検討されたい。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第4部会)

2021年度 (対象: 2020年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	事務組織 E群
--------	---------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評	
<p>1120 各事務組織において、おおむね年度重点目標に基づき、持続的に改善・向上の取り組みを行っていると思われる。中でも、組織内での定期的なミーティングによる情報共有、目標達成のための独自の取り組み、他組織の模範となる業務効率化の取り組み、経費節減の工夫など、各組織で独創的な改善・向上の取り組みが多く見受けられたことは、特筆に値する。一方で、年度重点目標に沿った運営がなされていない組織や、改善・向上に向けた取り組みにおいて具体性に欠ける組織が見受けられたのも事実である。今後は、各事務組織で行っている特色ある取り組みを全学的に情報共有し広げていくこと、年度重点目標に沿ったより具体的な業務改善・向上の取り組みを推進することが求められる。</p> <p>1120 委員会活動に関しては、各事務組織において開催や議事録作成の手続きはおおむね適切に行われているが、一部根拠書類から委員会活動が明確に確認できない事務組織があった。ただし、ペーパーレス化の取り組みや、学生の意見の取り入れ、独自の情報把握・共有の仕組みなど、委員会活動をより効率的に推進し、さらなる業務改善・向上につなげるためのグッドプラクティスがいくつも発見されたことは大いに評価できる。</p>	
長所・特色	
<p>1120 ガルーンのグループウェアを利用した組織内の情報共有や組織全体の業務把握の取り組み (財務部財務課)</p> <p>1120 ホームページ等を活用した会議資料のペーパーレス化 (工学部事務室、人文学部事務室)</p> <p>1120 コロナ禍における学生対応等への工夫 (研修センター、総合情報センター事務課、教育実習センター、教職支援センター事務課等)</p>	
留意点	
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: center;">【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p>	
<p>1120 年度重点目標に沿った持続的な改善・向上の取り組みが望まれる。【B】</p> <p>1120 委員会活動の根拠書類は委員名簿や議事録とし、適正に検証できる仕組みを構築する必要がある。【B】</p> <p>1120 運営委員会が組織されていない、または開催されていない組織があるため改善を検討されたい。【B】</p>	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管